

1. 会長挨拶
2. 全国大会のお知らせ
3. 総会のお知らせ
4. 懇親会のお知らせ
5. その他

会 長 挨 拶

今年度も大会・総会が近づいてまいりました。例年と同じく、多くの会員が集い、研究成果の発表と共有の場が持てるものと期待されてなりません。関係各位のご尽力により、論集17号も公刊の運びとなりましたが、学会のさらなる発展・充実に向けた懸案事項に具体的に取り組むべきときかと思われま。この点についても、活発な意見交換をぜひお願いします。

生 田 省 悟

平成28年度全国大会（第5回）のお知らせ

日時：2016年5月27日（金）15:55～17:55

（発表時間は各25分＋質疑応答各10分＋休憩5分）

場所：立正大学品川キャンパス 9号館地下1階 9B11 教室

<http://www.ris.ac.jp/access/shinagawa/index.html>

3 16:00～16:35 司会 山本 真司

『シェイクスピアのソネット集』の黒い女について—錬金術と黒い聖母崇拜からの考察

藤澤 博康

近年、『シェイクスピアのソネット集』（以下、『ソネット集』と略記）と錬金術の関連を扱った論考がいくつか発表されている。玉石混交ともいえるこれらの試みのなかでも、マーガレット・ヒーリーの『シェイクスピア、錬金術、創造的想像力』（2011年）は、錬金術に関する知識の豊富さ、テキスト解釈の面白さという点で異彩を放っている。本発表では、ヒーリーの『ソネット集』に登場する「黒い女」を錬金術の観点から論じた部分を紹介するとともに、特にその「黒の過程」(*nigredo*)をめぐる議論を補完する要素として、主にヨーロッパ・カトリック圏で見られる黒いマリア像信仰（黒い聖母崇拜）に着目し、『ソネット集』の「黒い女」と黒い聖母崇拜の共振し合う部分を指摘する。さらにこの作業を通して、西欧社会における黒をめぐる錬金術的思考と『ソネット集』の接点について考察する。

1 16:40～17:15 司会 笹川 渉

劇場閉鎖と教育的 entertainment—護国卿時代における William Davenant の自己保存

大島 範子

1642年の劇場閉鎖令から60年の王政復古まで、イギリスにおける演劇文化は断絶されていたと捉えるのが一般的である。しかし一方、クロムウェルが護国卿に就任する53年以降、政府が禁止する“play”とは異なるものという体裁をとりながら、舞台を使った“dramatic piece”あるいは“entertainment”を上演する試みが見られることは興味深い。中でも、特に王党派の劇作家 William Davenant の活躍はめざましい。51年に亡命先のフランスから帰国した後の彼は、クロムウェルの軍国主義的植民地政策を支持する筋立ての“entertainment”をいくつか上演しているが、その中でも、56年の *The Siege of Rhodes* は、そのような国威高揚の意識よりも、むしろ「名誉よりも命を大切にすべし」という、国内に多数存在する王党派の残党へのメッセージを打ち出すようにも読める点で特異である。この作品を、Thomas Hobbes の著作の影響、特に彼の契約説の中心となる「自己保存」の概念から考察することが本発表の目的である。

2 17:20~17:55 司会 川田潤

消費文化と英国演劇

梶 理和子

王政復古以降、18世紀にむかうイングランドでは、新たな消費文化が始まろうとしていた。その背景には、国内での生産がコスト的に難しい、あるいは技術的に不可能な商品が海外から、時に遥か遠い東洋からも届く、マーケットのグローバル化があった。そのような輸入品には、服飾品から動植物、果実、陶器や茶、砂糖、香料などがあり、当時としてはかなりの贅沢品であった。

本発表では、17世紀後半から18世紀初頭の喜劇、特に上流社会の風習を描く喜劇に登場する、あるいは言及される贅沢品（とりわけ陶器や茶）に関連する表象に焦点を当てて、このような商品を所有・蒐集・消費したいという欲望を考察する。その際に、（女性の）非常に高額な商品を購入できる経済力、その財産を思うままに使うことのできる自由、そして、そこに絡むセクシュアリティの問題についても目を向けたい。

平成28年度総会のお知らせ

- 日時：2016年5月27日（金）18:00～18:30（全国大会終了後）
- 場所：立正大学品川キャンパス 9号館地下1階 9B11教室（全国大会と同じ会場）

総会次第（資料は当日配布予定）

【報告・連絡事項】

- 1 各支部活動報告
- 2 編集委員会報告
- 3 2015年度会計報告
- 4 その他

【審議事項】

- 1 来年度の大会・総会について
- 2 学会ホームページ開設について
- 3 会報発行について
- 4 論集の執筆料について
- 5 年会費について
- 6 その他

懇親会のお知らせ

万障お繰り合わせの上、ご参集下さい。また、懇親会の出欠席の〆切は、5月19日（火）とさせていただきます。

- 日時：2016年5月27日（金）19:00～21:00
- 場所：ゆうぼうと6階 紅梅の間
〒141-0031 東京都品川区西五反田8-4-13 電話：03-3490-5111（代表）
www.u-port.jp 参照（立正大学すぐ近く）
- 会費：8,000円
- 出席確認：uetsuki.keiichirou@nihon-u.ac.jp にお願ひ致します。本年度より日本英文学会等に倣ひ、出席の方のみメールでお願いいたします。あるいはファックス：03-5995-8401（日本大学芸術学部外国語）でも結構です。20日以降、出欠の変更等がある場合、kuetsuki@docomo.ne.jp にお願ひ致します。